

支笏湖畔・シリセツナイ山（533m）

（記）山岸

2019.2.18

山行日	H31年2月16日（土）
山行形式	日帰り登山
参加者	澤田リーダー
計14名	藤木た、笹山、長沼、近藤、八重樫、相馬、門馬、山岸、及川、増川、津川、川村、栗山
天候	曇り、晴れ 頂上5度

今回は、日曜日に会山行、登りに3時間をみる。まだ皆未登峰の禪山があり。足慣らしを含め、また全員スノーシューと言う魅力に、惹かれ参加する。なんの積雪多いのか少ないのか、雪に足取られ往生する。

鹿に食われた笹がまだ出て、木々が混んでいて、雪質もやわらかいこうゆうとこ、いつもスノーシュー組は登っているのか、でもこの山はスキーでは登れない。

小学校の右横の尾根に取りつく、雪少なく早々に足をすくわれる。スノーシューは数回しか使っていないので、勝手が違う、歩くにつれ足先のバンドが緩み、なんか右側に落ちていく？

（山行時間）

時刻	場所・状況・行動
7:30	岡志別の森運動公園
9:30	支笏湖小学校PA登山口
11:00	尾根頂上（2回の休憩をはさむ）
11:10	下山開始
11:55	c315mにて青空昼食
12:20	昼食完了下山開始
12:45	湖畔駐車場トイレ着 「支笏湖氷濤まつり見学 アルテンで入浴帰登」
登山hr	登り 1:30 下り 0:55

尾根と言っても広い雑木林、新雪に、動物の足跡鹿？

野鳥？と。振り返れば支笏湖、水面がきれい、登るにつれ色が変わる。風がないのか、水面に周りの山々が写る。本当に七変化！

正面南側、煙を吐く樽前山。風不死、今度行く多峰古峰山。

恵庭岳の岩峰が白く湖面に写る。さらにフレ岳、漁岳。

どれも雪を抱くと凜々しく映る。

14人目最終のラッセルでリーダーが頂上を踏む？

リーダー特権か、長い尾根（標高30m差）をリーダー先頭で

ラッセルもなくのんびり歩く。

細長い尾根より湖畔に（南西方向）向かい皆めいめい下山開始。

リズムをつけてホイホイ雪をシューで蹴り上げ下山。上手に尻を使い

雪まみれに下山する人、勝手に降りる 25分くらい楽しかった。



湖畔温泉街に着き、トイレに向かう。冬は駐車場無料との事。

いつも夏は、料金を心配して駐車してたが、冬は無料、今年の夏は410円が500円に値上するそう。

小学校の駐車場に戻り、荷を下ろして、せっかくだから「氷濤まつり」を見に行く、準備に1か月以上かかるそう、幻想的と氷が大きい。夜のライトアップは荘厳だろうな。



ここで、Nさん、Mさんと別れの儀、明日また会う事を約束し？ 苫小牧のアルテンに向かういつも登山後に入る我が至福の時間。

今日の山行は天候も良く、暖かく、近間で楽しませていただきました。

リーダー、各担務の方お疲れ様でした。

